

2020年3月30日

Next Commons Lab×JR東日本スタートアップ
人材の移動距離を延ばす「Way-Way」プロジェクトを開始
～南相馬市・小高駅をリノベーション。「民間駅長」を募集～

一般社団法人 Next Commons Lab (NCL) は、人材の“移動距離”を延ばす社会インフラづくりプロジェクト「Way-Way」を3月30日に発表。第1弾として開始する福島県南相馬市小高駅のプロジェクトに参画するコーディネーター「民間駅長」を同日より募集します。

人生は移動距離で決まる。
Way-Way



Way-Way は、地方創生プロジェクトを数多く手がける NCL と、JR 東日本の 100%子会社である JR 東日本スタートアップ株式会社が、それぞれの強みを活かし、地域と首都圏のニーズをつなぐプロジェクトです。地域の課題を解決する創造的人材を育成するとともに、旅をしながら地域で仕事ができるインフラや環境を構築。JR 東日本の駅舎を活用してコミュニティの場とすることで、関係人口の創出・拡大につなげることが目的です。

第1弾となる南相馬小高地区ではすでに NCL が手がける 4 つのプロジェクトが進んでおり、Way-Way の導入で都市部の人材が、これらのプロジェクトに参画できる環境を整えます。また、都市部と地域との移動を促進するために、移動コストの削減を目的とした新制度の導入も検討しています。



南相馬市の小高駅

3月14日の常磐線全線運転再開に併せて小高駅を、Way-Wayの拠点としてリノベーション。都市と地域の人材をつなぐ場として、さらに小高駅を主に利用する学生のコミュニティの場としての役割を担います。

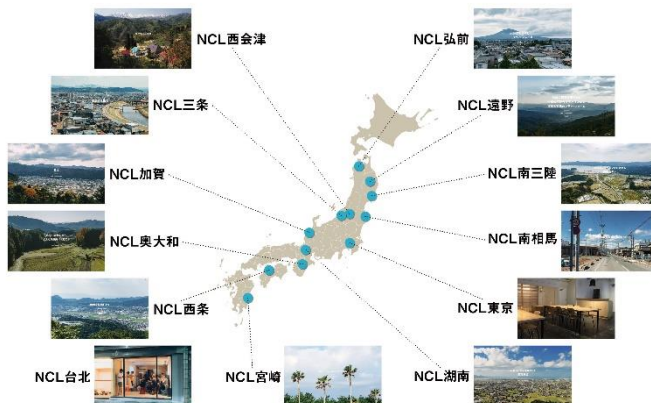


小高駅の待合スペース

駅舎にはコーディネーター「民間駅長」が駐在。スペースの維持・管理、事業開発や企画立案に加えて、都市部の人と住民をつなぐコミュニケーションのハブとしても活動します。

Way-Way プロジェクトの経緯について

NCLは「ポスト資本主義を具現化する」をミッションとし、地域リソースに対する事業創出などを目的としたソーシャルベンチャーです。2015年の事業開始以降、地域おこし協力隊制度を活用したローカルベンチャー創出の仕掛けを展開。現在は日本国内12カ所、台湾1カ所に拠点をもち、90以上の地域プロジェクトを支援しています。



NCLの拠点

これら地域プロジェクトが成果を見せつつある一方、いまだ日本のビジネスは東京などの都市部に集中しており、地方だけで実現できるビジネス展開には限界があります。また、地方の人口減少は歯止めがかかることなく進んでおり、2040年には自治体の半数が消滅する恐れがあるという予測※もあります。

※日本創成会議・人口減少問題検討分科会 提言より (P6)

http://www.policycouncil.jp/pdf/prop03/prop03_digest.pdf

人口減少と東京一極集中による地方の衰退を解決するために人材の流動性を高め、関係人口の増加を促すとともに地域の活性化を支援する必要があると考えるた NCL と、人口減少により無人駅が進む JR 東日本エリアの活性化を課題とする JR 東日本スタートアップの協業により「Way-Way」プロジェクトが実現。無人駅をコミュニティの場とし、コーディネーターとして「民間駅長」が常駐することで地域の活性化と東京エリアとの移動を促進、人口の奪いあいではなく、「人口をシェアする」社会を目指します。

民間駅長の募集要項は下記の URL をご覧ください

<http://project.nextcommonslib.jp/project/way-way/>

NCL について

名称: 一般社団法人 Next Commons Lab

所在地: 150-0001 東京都渋谷区神宮前 6-27-4 東武第二ビル 2 階

代表者: 代表理事 林 篤志

事業内容: 地域資源を活用した事業創出などを目的としたマルチセクターによる活動プラットフォームの構築

URL: <https://nextcommonslib.jp/>

JR 東日本スタートアップについて

名称: JR 東日本スタートアップ株式会社

所在地: 東京都新宿区西新宿 1-1-6 12SHINJUKU 1201

代表者: 代表取締役社長 柴田 裕

事業内容: 事業シーズや先端技術の調査・発掘、ベンチャー企業への出資、JR 東日本グループとの協業推進

URL: <http://www.jrestartup.co.jp/>

本件に関する問い合わせ先

Next Commons Lab 担当 甲斐

kai@nextcommonslib.jp